



人間・人形 映写展	20132/25→3/9 表参道ギャラリー5610
渡邊肇×堀部公嗣	東京都港区南青山 5-6-10 5610 番館

「人間・人形 映写展」開催

2013年2月、表参道ギャラリー5610において、フォトグラファー渡邊肇と、映像ディレクター堀部公嗣がタッグを組み、日本を代表する古典芸能、人形浄瑠璃文楽の世界を、写真と映像で魅了する「人間・人形 映写展」を開催する運びとなりました。

近松門左衛門の代表作「曾根崎心中」をテーマに、主人公、お初・徳兵衛の人形が、まるで魂を吹き込まれたかのように生き生きと動く様子を、ハイスピードカメラや3Dカメラで捉えた映像作品と、曾根崎の森をイメージにした風景写真、そして音楽プロデューサー緑川徹のオリジナルBGMとの相乗効果により、まるで江戸時代の曾根崎の森にタイムスリップしたかのような臨場感を体験していただけます。

さらに、一体の人形を三人の人間が操る、人形遣いの巧みの技を捉えた「エアー人形」の特撮映像も初公開。通常は決して人前にさらされる事のない、人形の緻密な動きの秘密が、まるで手品の種明かしのよう鮮やかに解明されます。

日本の美しい古典芸能の世界を、最新のビジュアルテクニックで再現する「人間・人形 映写展」。今まで「文楽っ？」と、聞くだけで敬遠してきたような喰わず嫌いの方にこそ味わっていただければ幸いです。

日時：2013年2月25日～3月9日

場所：表参道ギャラリー5610 港区南青山 5-6-10 5610 番館

入場無料 11時～18時 期間中無休 電話：03-3407-5610

この件に関するお問い合わせ：有限会社ディアポジティブ 担当 嶋田 TEL/ 03-5422-8317 FAX/ 03-5422-8318 e-mail / js@diapositive.jp
--

文楽っ? BUNRAKU?

人間・人形 映写展 / 作品ライナップ（抜粋）

日本の古典芸能をまったく新しい視点から表現、
究極の伝統美をデジタル・ハイビジョンでお届けします。

「お初の肖像」 マルチ液晶モニター



吉田 叢助師

お初の悲しみに震える肩先や胸の鼓動、まるで魂を宿しているかのような表情の変化を繊細に描写しました。

「お初・徳兵衛」 4K プロジェクター・スクリーン投影/3D モニター



お初と徳兵衛の道行から死に至る瞬間までを、緻密なカメラワークで丁寧に捉えました。

「エア人形」 CG/4K プロジェクター・スクリーン投影



黒衣の人形遣いが操る人形の動きと、人形無し（エア）で行う動作を、同ポジションで撮影、
2つの映像をオーバーラップさせることで、人形遣いの巧みな技の秘密が初めて明かされます。